まちの〝こと〟自分の〝こと〟 一緒に考えよう。さろま町の議会だより

コトコト

2026
№148



今回の内容

「まちのお話　第３回定例会一般質問
令和７年度決算「町のお金」はどう使われた？
どうする!? 佐呂間町議会（議員定数・報酬）
トラットリアさろま議会
SAROMA TOWNFILE（裏表紙）

今回の表紙　新庁舎建設作業

６月２６日に撮影した、前号の表紙から２ヶ月半程経過した９月１５日の新庁舎建設作業風景です。根掘り作業から一変、基礎ができあがり、鉄筋の柱が組まれています。多くの作業員の皆さんが、暑い日も寒い日も一生懸命作業されているおかげで、順調に進んでいるようです。ありがとうございます！

第３回定例会一般質問

①ガバメントハンターの検討について
②佐呂間町役場における AI 導入について



住 田 広 樹　議員

持続可能な対応のために
長期的な視野でハンター育成を





質　近年全国的に増加している熊などの鳥獣被害の対応において、重要となる猟友会の高齢化を考えると、本町での継続的な対応のためにもガバメントハンター導入を検討しているのか？また、ハンターは必要だからとすぐに増やすことができないので、長期的に考え、育成していくことも検討していただきたいと考えるが、町の考えは？

→

答〔町長〕全国的に熊をはじめとする鳥獣被害が相次いでいる中、多くの自治体では猟友会会員の高齢化、担い手不足が深刻な課題となっています。そのような中、本町の猟友会は佐呂間部会、若佐部会あわせ 25 名の会員がおり、32 歳～８０歳までと幅広い年代の会員にご尽力いただき感謝しているところです。令和５～７年にかけては 10 名の狩猟免許取得者の加入があり、若手指導者も増えている状況です。免許取得にかかる奨励金の交付などから新規会員が増加していると考えており、経験豊富なハンターによる技術継承も行われていくことを考えましても、現時点でガバメントハンターの導入については考えていません。

AI 活用のデメリットは最小限に
メリットは最大に





質　人口が減少していき、働き手も不足していく中で生成 AI の活用は不可欠。音声 AI による窓口対応など人手不足解消をはじめメリットがいろいろな面で多く考えられるが、個人情報保護の観点では利用方法など使う側の知識がなければデメリットや使用するリスクがあることも事実。それらを踏まえても、知識を養い、リスク管理を徹底した上で町として AI 導入・活用を行っていく必要があると考えるが、これからの AI 導入・活用について伺う。

→

答〔町長〕日々進歩するデジタル技術の活用は、業務遂行に有益であり、効率化に資するものと認識しており、積極的に導入する考えで、現在、生成 AI の導入に向けてガイドラインの作成など準備を進めているところです。一方、個人情報や機密情報漏洩などのリスクもあり、そうした情報を入力しないなど利用方法や基本的な仕組みについて、研修受講を義務づけることとしており、安全性の確保を徹底した上で、最適な利用に努めていきたいと考えています。

---

①佐呂間高校魅力化の取組について
②第 10 期介護保険事業計画について
③アメリカ産生食用ジャガイモの輸入解禁の町の対応について



但 木 早 苗　議員

質　佐呂間高校の存続、魅力化は地域創生総合戦略の重要項目として位置づけている。佐呂間町のまちづくりの観点からも重要な取組になるが、高校存続対策協議会のワーキンググループ設置要綱には構成員に産業団体が明記されていない。町全体で取組む必要があること、佐呂間には欠かせない産業界を高校の魅力化にどう位置づけていくのか？また、学校と地域をつなぐ、専門のコーディネーターの活用も必要と考えるが町の考えは？

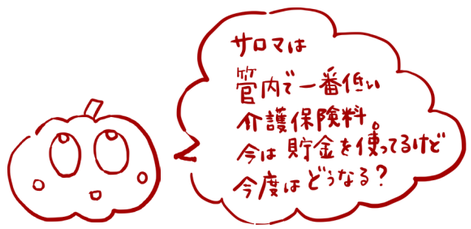




→

答〔教育長〕佐呂間高校は町の未来を考える上で大切な存在であり、高校の魅力化は学校だけでなく、行政、地域産業界など町全体で考えていくことが重要と認識しています。今回設置したワーキンググループ（WG）も学校関係者や教育委員会職員だけではなく、地域の様々な方に参画頂くこととしており、産業団体の方も構成員とすることが可能な要領となっています。WG は協議会よりも細かな部分での協議を実務者レベルで行うため、その都度協議テーマによって参画頂けるよう、構成員を固定明記しない考え方によるものです。コーディネーターに関しては、今年度新たに設置された教育委員会の教育魅力化推進室がその役割を担って進めています。今後取組が進む中で、現状の体制で対応ができなくなることも考えられます。その際には、柔軟に対応を検討していきます。

質　来年度から始まる第 10 期介護保険事業について計画策定作業が進められていると思うが、以下について伺う。
①保険料額の見込みについて
②地域類型導入の影響は？
③給付と負担の見直しによる負担増は？
また、上記の負担が増えることも考えられるが、住民の希望にそう介護保険制度になるよう町としての対応をとっていただきたいがどのような考えか？



→

答〔町長〕①介護保険料は、町の貯金である介護給付準備基金を取り崩しながら、第７期から現在の９期まで標準月額 4,500 円としています。これは管内では置戸町と並んで一番低く、北海道では４番目、全国でも７番目に低い金額となっています。第 10 期の算定にあたっては、今月下旬を目処に国から高齢者人口推計などから基礎数値がリリースされる予定であり、現在見込額をお答えすることができません。今後基金の活用などを検討していく中で値上げすることも考えられますので、ご理解願いたいと思います。
②全国を中山間地域、人口減少地域、大都市部一般市等の主に三つの地域に分離し、地域の状況に応じたサービス提供体制や支援体制を構築していくものとされています。しかし、これらについても現在一定要件が示されただけで、全容は決まっていない状況であり今後の動きを注視していきます。
③給付と負担の見直しについても、現在国において審議中であり、何も示されているものがなく、負担の増減についてはお答えできるものがないことをご理解願います。
　介護保険の制度が後退するようなことが無いよう、国に要望していきます。

質　本町のジャガイモ面積は多くはないといえ、病虫害の影響で輪作体系が崩れれば、農業経営に多大な被害を招きかねない。２団体から意見書も上がってきているが、輸入解禁反対については、食の安全安心を守り、また、北海道の農業を守るという観点で町長には力を発揮していただきたい。

→

答〔町長〕本町では令和６年以降、ジャガイモの作付が行われていませんので、直接的な影響は少ないと思われますが、オホーツク地域及び北海道農業の安全安心の食を守るために、農業団体、北海道及び関係市町村と協力し、国に強く要望していく考えです。

令和７年度決算

「まちのお金」はどう使われた？

一番の歳入財源が地方交付税なのは例年変わりません。しかし、いかに自主財源である、町税や使用料等を増やすか？が重要な施策となりますが、令和７年度の「まちのお金」はどう使われたのか。９月 16 日に開催された〝決算審査特別委員会〟において議会が見たまちの決算についてお伝えします。

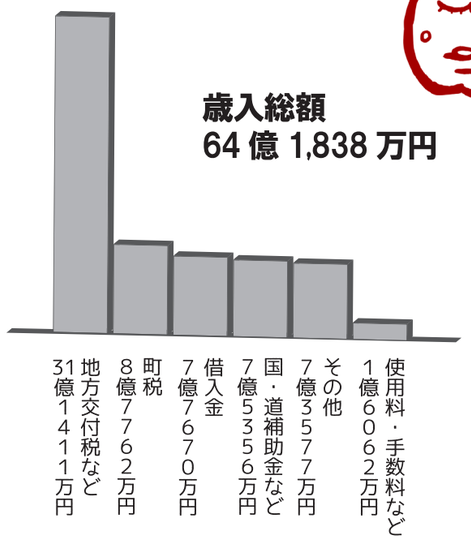
歳入の約半分は地方交付税

歳入で自主財源となる町税、使用料・手数料等は合計で 10 億 3,824 万円、割合にして 16.2％となっています。令和６年に比べて町税は 4,308 万円増加していますが、使用料等は 475 万円減少で、人口の減少とともに今後も減ることが予想されます。過疎地域の多くの自治体にとって、交付税だのみの歳入になっているのが現状ですが、この状況を少しでも改善していくことが、町として取り組んでいかなければならない、重要なものの一つです。

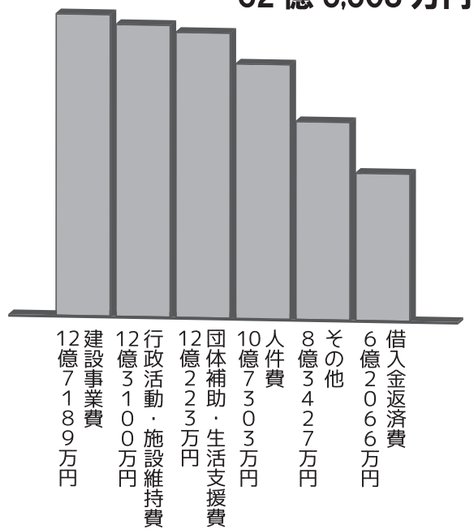
歳入を増やすために町内事業所の活性化、それらによる町民の所得向上によって、法人税や住民税が増加する好循環のために支出されたものがあるか？ということも議会では注視していく必要があります。



歳入総額
64 億 1,838 万円



歳出総額
62 億 3,308 万円



建設事業費が２億円以上増加

行政活動・施設維持費は昨年から 7,704 万円減少しましたが、今後も施設の長寿命化など維持費に多くの予算が必要な状況で、今後の増加が予想されます。建設事業費は昨年から２億 4,311 万円増加となり、道路や橋などインフラの整備に多くの予算が必要となっていることがわかります。同様に団体補助・生活支援費の支出も昨年から１億 8,678 万円増加しています。

施設の維持や更新は今後、更に増加することが予想されます。また、生活支援費など福祉的な事業への支出も必要であり、自治体として根本にある住民福祉の充実のために支出しながら、どのようにまちの活性化へ予算を配分できるか、出来る限り収入を増やすことができるのか？が、重要になってきます。

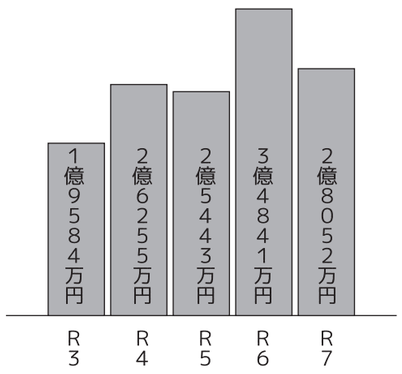
町内企業への還元は？財源の投資も必要

安定的な財源ではないものの、〝ふるさと納税〟の歳入は、交付税以外で考えると貴重な収入源となっています。本町では返礼品となるホタテや牡蠣などの海産物、牛肉、豚肉、バターなど様々な特産があり、町内の企業の皆さんの努力と協力により２億 8,052 万円の寄附がありました。

更に金額をのばすためには、〝数を提供できること〟が前提になります。新たな返礼品の開発とあわせ、町内の産業等の活性化により、生産数、加工数を増加できるよう、一次産業の後継者や新規就業対策、企業への設備更新補助や規模拡大への支援の充実が望まれます。



ふるさと納税寄付額推移



町内企業等へ活性化のための補助は？

主な事業活動への補助

◆産地生産基盤パワーアップ事業補助金 〔１億 1,691 万円〕
小麦の労働生産性 10%以上向上に向けた機械導入への補助

◆麦・大豆生産技術向上事業補助金 〔1,210 万円〕
効率的播種技術導入、スマート農業技術活用による省力化等の取組への補助

◆商工業活性化事業補助金 〔891 万円〕
生産向上等に向けた設備の導入・更新などへの補助

◆小規模事業者開業支援補助金 〔271 万円〕
小規模事業を開業する際への補助



議員定数・議員報酬どうする？

定数と報酬に絶対的正解はない

皆さんは佐呂間町議会の議員定数、議員報酬についてどのようにお考えでしょうか？〝人口も減ってきているし、いまの議員数は多いんじゃない？〟・〝佐呂間町は面積が広いから、議員数を減らしたら、地域全体の声を聞くことができなくならない？〟・〝今の時代議員報酬もある程度上げないと誰もやる人はいなくなるんじゃない？〟・〝議員は名誉職みたいなものだから、本当にやる気があるなら報酬の額は関係ないよ。報酬のためじゃなく、町のために活動するのが議員でしょ？〟など、いろいろな考えがあるかと思います。

各自治体の状況によって、これらの考えは更に多様化し、複雑なものです。絶対的な正解はありません。ただし、今の、そしてこれからの佐呂間町を考えたときに、より良い選択はあるはずです。出来る限り多くの方が納得できるよう、町民の皆さんの声を聞きながら、よい方向へ進めていけるよう取組んでいきます。

管内議会の状況は？

〔令和８年４月１日現在〕

町村名	人口（人）	面積（㎢）	議員定数（実際の議員数）	議員報酬（円）（役職なし）	議員年収（円）（役職なし）
斜里町	10,233	737.1	13（13）	190,000	3,296,025
湧別町	7,744	505.7	11（11）	190,000	3,163,500
大空町	6,273	343.6	12（11）	190,000	3,163,500
佐呂間町	**4,559**	**404.9**	**10（9）**	**185,000**	**3,080,250**
訓子府町	4,369	190.9	10（10）	185,000	3,080,250
小清水町	4,253	287.0	10（10）	190,000	3,163,500
雄武町	3,908	636.9	10（10）	180,000	2,997,000

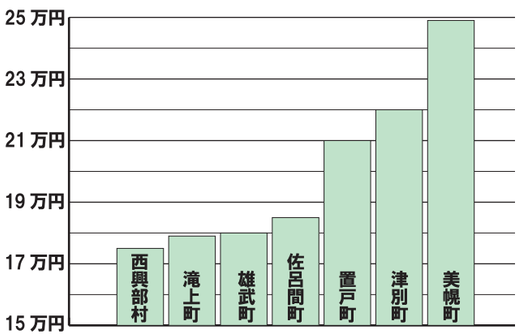
※オホーツク管内の町村を人口の多い順に並べたとき、佐呂間町の上下３町の状況。

オホーツク管内の町村数は 15、その中でも人口が１万人を超えるのは遠軽町（17,058）、美幌町（16,797）、斜里町（10,233）の３町で、5 千人から１万人未満は湧別町（7,744）、大空町（6,273）となっており、佐呂間も含めた残りの 10 町村は５千人を切っている状況です。人口だけで見ると、同規模団体である訓子府町、小清水町では議員定数・報酬ともに同程度となっています。佐呂間は人口、面積ともに管内では中間より上位に入りますが、議員の定数・報酬はどうでしょうか？今後の管内の状況を見ていきたいと思います。



Map-it マップイット (c)

佐呂間の議員報酬は高い？低い？



管内議員報酬額上位・下位３町村と佐呂間町の状況

町村名	人口（人）	議員定数（実際の議員数）	議員報酬（円）（役職なし）
美幌町	16,797	14（14）	249,000
津別町	3,881	10（10）	220,000
置戸町	2,458	8（8）	210,000
佐呂間町	**4,559**	**10（9）**	**185,000**
雄武町	3,908	10（10）	180,000
滝上町	2,163	9（9）	179,000
西興部村	931	7（7）	175,000

平均より低い現状だが、増額には根拠が必要

上位の町村は、既になり手不足対策などを行い、報酬額の改定を行った町になっていますね。人口規模に関わらず、議員の活動量などを検討した結果、増額しているため他町村と比較すると多くなっています。下位の町村は、現在取り組みを行っている又は今後検討する町村もありますが、佐呂間町よりも人口は少ない町村となっています。現在の佐呂間は中間より下位に近い状況です。今後、なり手不足を含めて検討していく必要があります。



役割を果たすため本当に必要な人数は？

佐呂間と人口規模が同じ町は、定数も同じ 10 名が多い状況です。10 名以下の町村は 1,000 人以上人口の少ないところが多いですね。ただ、西興部村の定数は７名、人口規模が約５倍となる佐呂間町と類似町が 10 名であることを考えると、単純に人口規模ではなく住民の意思反映や多様な意見を必要とするため、最低限必要な人数があると考えられます。そこの折り合いを皆さんの声を聞きながら、佐呂間は何人なのか見いだしていかなければなりません。



町村名	人口（人）	面積（㎢）	議員定数（実際の議員数）	議員報酬（円）（役職なし）
遠軽町	17,058	1,332.4	15（15）	201,000
美幌町	16,797	438.4	14（14）	249,000
斜里町	10,233	737.1	13（13）	190,000
佐呂間町	**4,559**	**404.9**	**10（9）**	**185,000**
清里町	3,554	402.7	9（9）	190,000
興部町	3,426	362.5	9（8）	185,000
滝上町	2,163	766.8	9（9）	179,000

※定数下位の西興部村７、置戸町８の状況は報酬の表参考。

次回は、議会懇談会や他町の取組みについて学んだ研修など、佐呂間町議会が行っているなり手不足対策や定数・報酬改訂への取組について掲載を予定しています。次号もぜひ、ご覧ください。

トラットリア『さろま議会』

ようこそ！トラットリア『さろま議会』へ。
トラットリアはイタリアの大衆的なレストランや食堂でカジュアルなお店を意味します。
親しみやすく、楽しく、議会で決めたことなどをお伝えしていきます。



今回の議決メニュー

☆第２回定例会

・令和８年度佐呂間町一般会計補正予算（第４号）

プレミアム商品券
熊本地震復興支援 など
サロマの災害の時は
全国からお見舞を
いただきました。

・令和８年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）

・令和８年度佐呂間町介護保険特別会計補正予算（第１号）

・令和８年度佐呂間町介護サービス事業特別会計補正予算（第１号）

働く人が増えることでの
予算増はうれしい！

・令和８年度佐呂間町簡易水道事業会計補正予算（第２号）

・令和８年度佐呂間町公共下水道事業会計補正予算（第１号）

・教育委員の任命同意

教育委員
人権擁護委員
よろしくお願い
いたします

・人権擁護委員候補者の推薦

・専決処分の承認（損害賠償額の決定）

令和７年度の
会計決算報告が
あったよ。
補助金の使用状況や
給食のアレルギー対応などの
質問確認があった

・令和７年度佐呂間町各会計決算認定

・健全化判断比率及び資金不足比率について

・継続費精算報告書について
・継続費精算報告書について
・継続費精算報告書について

新庁舎建設工事や
佐呂間・知来のテレビ中継の機器の更新

・国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

・備蓄米水準の早期回復を求め、米国産生馬鈴しょの輸入解禁反対等を求める意見書



活動状況などなど

8 月 1 日（土）
道北自衛隊家族会懇親会

8 月 18 日（火）
北海道町村議会議長会議会広報研修会



8 月 19 日（水）
北海道森林・林業・林産業活性化
促進議員連盟連絡会役員会・総会

8 月 20 日（木）
議会活性化特別委員会
議場システムデモ

8 月 25 日（火）
全員協議会

8 月 29 日（土）
遠紋地区市町村議会議員研修会



9 月 2 日（水）
総務福祉常任委員会

9 月 3 日（木）
産業文教常任委員会

9 月 14 日（月）
議会運営委員会

それぞれの担当を
持ってうごいています



9 月 15 日～ 17 日
第３回定例会

9 月 15 日～ 16 日
決算審査特別委員会



9 月 17 日（木）
議会活性化特別委員会
議会広報特別委員会

9 月 25 日（金）
オホーツク圏活性化期成会
麻生太郎自民党副総裁への要望活動



9 月 29 日（火）
議会懇談会



10 月 1 日（木）
遠紋地区市町村議会議長・副議長・
事務局長研修会

10 月 13 日～ 16 日
佐呂間町議会道外行政調査



10 月 21 日～ 23 日
遠紋地区市町村議会道内行政調査

10 月 28 日（水）
オホーツク圏活性化期成会秋季要望活動

さろま町議会だより コトコト
№148
発行 佐呂間町議会
令和8年11月発行
住所 〒093-0592 北海道常呂郡佐呂間町字永代町3番地の1
電話 01587-2-1291 FAX 01587-2-3368（役場兼）

議会だより〝コトコト〟では皆さんから掲載してほしいこと、感想を募集しています。お気軽に左記QRから応募ください。

今回のフォーカス

猟友会の活動

近年、鳥獣害の報道が多くされています。そのような中、今号では猟友会の皆さんがどのような活動を行っているのかお伝えします



100kmマラソンランナーの安全を守る

マラソンの前日の朝夕、当日の朝マラソンコースにクマが出ないように爆竹をならしながらパトロールをします。

クマが出たら

クマが出たら要請に応じて、猟友会の方が出動します。目撃情報のあった周辺のパトロールや罠の設置、駆除など役場の担当者と連携して行っています。

クマを駆除できる威力の強いライフル銃を持つまでには、狩猟免許を取り、散弾銃、ハーフライフル銃等で修行してからとなり、10年かかる

シカについての活動もあります

〇春先シカ一斉駆除
〇ライトセンサス秋個体調査
　毎年、同じ時期、場所でシカの個体数調査を行っています。





ほかにも・・・
冬の林道パトロールや、年間を通して鳥獣害のパトロールや駆除を行っています。駆除には報奨金があり、鳥獣の種類によって金額が異なります。狩猟免許の取得には奨励金もありますので、詳しくは役場経済課（２－１２００）までお問い合わせください。

【編　集】　議会広報特別委員会
委員長　髙橋　紀久　　副委員長　住田　広樹
委　員　渡辺　一馬　　委　員　髙橋　広明
委　員　鈴木身江子　　ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ　モモちゃん

【編集後記】 佐呂間町内でもクマの目撃情報は後を絶ちませんが、他の鳥獣被害も含め比較的少なく済んでいます。環境や固体数も関係していると思われますが、猟友会の方の日頃の活動も被害を抑える大きな要因となっていることは間違いありません。町民の皆さんの活動への理解と、継続した活動のため担い手育成も必要なことです。